

平成 26 年（2014 年） 度  
金沢大学大学院法務研究科

入学試験問題

小論文

第 2 次募集

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は 5 枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。

## 平成 26 年度（2014 年度）金沢大学大学院法務研究科入学試験問題

試験科目	小 論 文
------	-------

### 問題

出典：大竹文雄『競争と公平感』（2010年、中公新書）

問1 （下線部1）で筆者はどのようなことを主張しようとしているのか。生産性が時給600円である労働者を前提とし、（ア）最低賃金が800円である場合、（イ）最低賃金が400円である場合、（ウ）最低賃金が400円から500円に引き上げられた場合に、筆者の主張によれば想定される結果を500字以内で説明しなさい。

問2 （下線部2）の理由として考えられることを200字以内で論じなさい。

問3 （下線部3）の理由について、筆者の主張内容を400字以内でまとめなさい。

問4 （下線部4）に関し、筆者の見解を踏まえ、貧困救済策として効果的と考えられる具体的な方策を、それが有効と考えられる理由を含めて、400字以内で論じなさい。

以 上